

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	体表解剖学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年		学期及び曜時限	前期 水曜2限目	教室名	装具加工室
担 当 教 員	西尾嘉津政	実務経験と その関連資格	理学療法士10年目。教員歴4年目。			
《授業科目における学習内容》 骨模型や実際の体表に触れることで、骨や筋の名前や形状を学ぶ。 また、解剖学のイラストや写真を見て、スケッチ・紙粘土工作をすることで、より骨や筋の形状のイメージを深める。 さらに、実際に体を動かしながら、筋の起始と停止や作用を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》 口頭試問:10% 小テスト:40% 定期試験:50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 教科書:河上敬介:骨格筋の形と触察法 改訂第2版,大峰閣,2013 坂井建雄:プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版,医学書院,2016 その他:配布資料・筋肉かるた・骨模型・紙粘土・割り箸						
《授業外における学習方法》 教科書の写真やイラスト、骨模型をよく見ながら、骨や筋の形状をイメージできるようにする。 筋の起始・停止も言葉だけでなく、上記の教材を見ながら覚え、作用を体を動かしたりイメージしながら覚える。						
《履修に当たっての留意点》 理学療法士として、骨と筋の触察が出来なければ正確な評価や治療ができないため、体表解剖学は大変重要となる。 模型作成・スケッチは真剣・丁寧に作成する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	骨の名前を述べるようになる。	教科書 骨模型	骨の名称	
		各コマにおける授業予定	授業概要説明、触察体験、骨模型を使って骨の名前を知る			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	筋の名前を述べるようになる。	教科書 筋肉かるた 骨模型	筋の名称、関節の運動方向	
		各コマにおける授業予定	筋肉かるたを使って筋の名前を知る、関節の運動方向を覚える+運動方向の口頭試問			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	肩甲骨の形状をスケッチや紙粘土で表現することができるようになる。部位の名前を述べるようになる。	教科書 骨模型 紙粘土 割り箸	肩甲骨の部位の名称	
		各コマにおける授業予定	肩甲骨のスケッチと模型作成+部位名称の小テスト			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	上腕骨や筋の形状をスケッチや紙粘土で表現することができるようになる。部位の名前を述べるようになる。	教科書 骨模型 紙粘土 割り箸	上腕骨の部位の名称	
		各コマにおける授業予定	上腕骨のスケッチと模型作成+部位名称の小テスト			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	橈骨・尺骨の形状をスケッチや紙粘土で表現することができるようになる。部位の名前を述べるようになる。	教科書 骨模型 紙粘土 割り箸	橈骨・尺骨の部位の名称	
		各コマにおける授業予定	橈骨・尺骨のスケッチと模型作成+部位名称の小テスト			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	骨盤の形状をスケッチや紙粘土で表現することができるようになる。部位の名前を述べることができるようになる。	教科書 骨模型 紙粘土 割り箸	骨盤の部位の名称
		各コマにおける授業予定	骨盤のスケッチと模型作成＋部位名称の小テスト		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	大腿骨の形状をスケッチや紙粘土で表現することができるようになる。部位の名前を述べることができるようになる。	教科書 骨模型 紙粘土 割り箸	大腿骨の部位の名称
		各コマにおける授業予定	大腿骨のスケッチと模型作成＋部位名称の小テスト		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	脛骨・腓骨の形状をスケッチや紙粘土で表現することができるようになる。部位の名前を述べることができるようになる。	教科書 骨模型 紙粘土 割り箸	脛骨・腓骨の部位の名称
		各コマにおける授業予定	脛骨・腓骨のスケッチと模型作成＋部位名称の小テスト		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	三角筋・僧帽筋・広背筋の起始と停止、作用を説明することができるようになる。	教科書 配布資料 骨模型	三角筋・僧帽筋・広背筋の起始・停止・作用
		各コマにおける授業予定	三角筋・僧帽筋・広背筋のスケッチと作用体験＋起始・停止・作用の小テスト		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	上腕二頭筋・上腕筋・上腕三頭筋の起始と停止、作用を説明することができるようになる。	教科書 配布資料 骨模型	上腕二頭筋・上腕筋・上腕三頭筋の起始・停止・作用
		各コマにおける授業予定	上腕二頭筋・上腕筋・上腕三頭筋のスケッチと作用体験＋起始・停止・作用の小テスト		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	大胸筋・腹直筋・腸腰筋の起始と停止、作用を説明することができるようになる。	教科書 配布資料 骨模型	大胸筋・腹直筋・腸腰筋の起始・停止・作用
		各コマにおける授業予定	大胸筋・腹直筋・腸腰筋のスケッチと作用体験＋起始・停止・作用の小テスト		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	大殿筋・中殿筋・大腿筋膜張筋・縫工筋の起始と停止、作用を説明することができるようになる。	教科書 配布資料 骨模型	大殿筋・中殿筋・大腿筋膜張筋・縫工筋の起始・停止・作用
		各コマにおける授業予定	大殿筋・中殿筋・大腿筋膜張筋・縫工筋のスケッチと作用体験＋起始・停止・作用の小テスト		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	大腿直筋・内側広筋・外側広筋・長内転筋の起始と停止、作用を説明することができるようになる。	教科書 配布資料 骨模型	大腿直筋・内側広筋・外側広筋・長内転筋の起始・停止・作用
		各コマにおける授業予定	大腿直筋・内側広筋・外側広筋・長内転筋のスケッチと作用体験＋起始・停止・作用の小テスト		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	大腿二頭筋・半腱様筋・半膜様筋・薄筋の起始と停止、作用を説明することができるようになる。	教科書 配布資料 骨模型	大腿二頭筋・半腱様筋・半膜様筋・薄筋の起始・停止・作用
		各コマにおける授業予定	大腿二頭筋・半腱様筋・半膜様筋・薄筋のスケッチと作用体験＋起始・停止・作用の小テスト		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	前脛骨筋・長腓骨筋・短腓骨筋・腓腹筋・ヒラメ筋の起始と停止、作用を説明することができるようになる。	教科書 配布資料 骨模型	前脛骨筋・長腓骨筋・短腓骨筋・腓腹筋・ヒラメ筋の起始・停止・作用
		各コマにおける授業予定	前脛骨筋・長腓骨筋・短腓骨筋・腓腹筋・ヒラメ筋のスケッチと作用体験＋起始・停止・作用の小テスト		